

ぐんまで頑張る職業人の熱意をレポート!

# 柴崎龍吾の課外授業

Vol.29

うすい学園代表取締役の柴崎龍吾が街に飛び出して、元気に働く人にインタビュー。子どもたちのために、職業の多様性や働くことの意味を毎号レポートしていきます!



エフエム群馬にてインタビュー内容を放送中! 毎週月曜 ワイド番組「ユウガチャ!」内 16:41頃~



うすい学園代表取締役 柴崎龍吾  
大学在学中に劇団を主宰し、卒業後は放送作家として活動。1975年に個人塾「横川学習塾」を開校し、以降、うすい学園を展開。子育てや教育に関する著書多数、ラジオ番組出演中。

## 花を贈る人々の気持ちをもっと最適な形で代行する

**柴崎** 今回は、前橋からお花屋さんの業界に革命を起こそうとしている、花助の小林新一社長にお話を伺います。御社のインターネットを使ったお花のサービスとは、どのようなものなのでしょう?

**小林** フラワーコンシェルジュというサービスで、簡単に言うと、弊社のサイトを窓口にして、全国各地にご利用者様の望む、最適なお花を届けるサービスです。

**柴崎** どのような部分が特徴ですか?

**小林** まず、私自身が全国を回り厳選した花屋と提携していることです。お客様は、自ら花屋を探す手間がなく、全国の厳選された花屋からお花を届けることができます。また、開店や就任、ビジネスマナーなどによって、どんなお花を贈ればいいのかなど、花贈りのコンサルティング

を電話やメールにて提供しています。

**柴崎** なるほど。確かに独特なサービスですが、なぜ思いついたのですか?

**小林** お花を贈るのって、冠婚葬祭にせよ、取引先の事務所開設にせよ、新築祝いにも、何らかの気持ちや思いを込めて贈るものです。だからこそ、そこには贈り主の不安があると思うんです。

**柴崎** どういうことでしょうか?

**小林** 例えば東京の人が北海道の友人にお花を贈りたいと考えても、当然ご自身は北海道のお花屋さんを知りません。もちろん品質も分かりません。それって不安だろーなと思っただけです。ならばそれを解決したいと考えました。既に全国的な花屋のネットワークはあり、弊社も加盟しています。でも残念なことにお花の

品質やボリュームなどへの不満や名札の筆耕間違いなどの課題が多々ありました。これでは贈る方は安心できませんよね。

**柴崎** 花を贈る人に対して、安心や品質を担保するのですか。しかし、全国各地のお店はどうやって見極めたのですか?

**小林** 実際に全国を巡ってお店に伺い、思いを伝え、賛同いただきました。そしてその花屋さんで製作した商品、お客様からの評価も調査し、一定基準に達しているかの確認もしました。現在は約200店舗と提携させていただいております。

**柴崎** すごく熱意ですね。こうしたサービスは最初から考えていたのですか?

**小林** いいえ、最初は他店と差別化するために、深夜0時まで営業している花屋でした。でも県内外へ夜遅くに花を届けたり、早朝から仕入れに行くため、体が追いつかなくなりました。なんとか業態を変えたいとネットに活路を見いだしたのですが、ただのネット販売だと競合が全国になつてしまっただけです。そこで、お客様目線を徹底的に追及して、価値を高めるサービスを考えました。

**柴崎** 面白いですね。今後のビジョンはどうでしょうか?

**小林** 実は今年、東京に進出します。といってもお店を構えるのではなく、セントラルキッチンのようなイメージです。そしてお花をお届けするスタッフの服装や言葉遣いなど「花の届け方」でも価値を高め、最適なお花と一緒に贈り主の想いを届けていきたいと考えています。

**柴崎** 花を贈る行為は特別なものだからこそ、利用者の不安を払拭し、満足度を追求する花助。利用者の「ありがたう」の言葉が一番のやりがいだと話す小林社長に、同社が支持される根源を垣間見ました。それではまた次回!



今月の職業人 株式会社花助 代表取締役 小林新一さん



▲前橋市出身。実家はバラ農家で、跡を継ぐために高校、大学、その後、アメリカやオランダでも農業を学んだが、最終的には「花の総合商社」を目指すことを決意して、花助を起業した  
◀「自分は火星人だ」と思いながら、常に俯瞰した視点を持ち、利用者目線で物事を考えたと笑う小林さん。起業はとてむわくするし、アイデアを練っていると楽しくて眠れないこともあると話す



高崎・前橋・伊勢崎・安中・太田周辺の学習塾。中高一貫教育や幼児～大学受験生までの一貫教育に強い地域密着型学習塾「うすい学園」

☎027-310-1919 <http://www.usuigakuen.co.jp/>

Facebookはじめました。「柴崎龍吾の課外授業」の過去記事もUPしています。ぜひご覧ください。